

2019 T1T2開幕前研修会

4月21日(日) 10:00 ~ 15:30
はままつフルーツパーク時之栖
(一社)東海サッカー協会審判委員会
強化部・育成部

2019年度T1T2開幕前研修会を実施しました。

内容は、今シーズンの取り組みについての講義・フィジカルチェック・映像を使用したディスカッションを行いました。

以下、概要を報告させていただきます。なお運営にご協力頂いた静岡県FAの皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

茶山強化部長挨拶



冒頭研修会の狙い・取り組み・T1T2審判員選考方法について説明がありました。

その中で次のメッセージが送られた。

「この場に入りたくても入れなかった審判員の存在を忘れてはいけない。

責任の重さを噛みしめて活動してほしい」

審判員は自分の立場を見つめ直しました。



フィジカルチェック、映像使用してのディスカッション(西野INS)

当日は天候に恵まれ人工芝というすばらしい環境の中フィジカルチェックを行いました。

内容は、「CODA」という左右の動きを取り入れた短距離走、「YOYO」という一定の距離を時間内に走る種目でした。

「YOYO」はここ数年フィジカルチェックで取り入れていたので、戸惑いはなかったが「CODA」は、初めての内容であり審判員は

戸惑いを感じていたが、普段通りの良いパフォーマンスをみせてくれた。

今のサッカーは昔に比べて「スピードが速い」です。その環境の中、審判員に求められるフィジカルも環境に対応できるよう日々トレーニングしなければなりません。

映像を使用したディスカッションでは、今シーズンのJリーグでの取り組みを参考にして理解を深めた。その中で「自分はプレーの優先権を考えファールと判断します」「このプレーは結果的に危険となるプレーでしたので警告が必要だと思います」という発言が出てきたことは、前向きと捉えます。なぜなら、現場では瞬時に判断しなくてはならず、そこには競技規則に基づいた論理的な考えが整理されていなければなりません。

今後も機会あるごとに審判員には論理的な発言ができるよう求めていきたい。

短い時間の中で、「何を学び・何に気づいたか」個々の審判員によって違いますが1つでも学んだ事が試合で発揮できるよう願うばかりである。



文責 東海強化部長 茶山暁志

参加者 (REF) 犬飼、安藤、谷口、高島、高橋、伊佐治、掘、福田、藤戸、深谷 (INS) 茶山、西野、加藤、山村、須田 (敬省略)